



稲敷市



Salmon Arm
サーモンアーム市 (カナダ)

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No.23
2017.12



平成30年3月サーモンアーム親善訪問団ホストファミリー募集について

～身近な国際交流を体験できる絶好のチャンスです！～

平成30年3月23日（金）から30日（金）まで、カナダ・サーモンアーム市からの訪問団が来市します。サーモンアーム市の子どもたちをホームステイさせていただける「ホストファミリー」を募集します。受け入れに際しては、特別に個室やベッド、洋食などを用意する必要はありません。一般的な日本家庭での生活体験を楽しみにして来ますので、気軽に家族や友達として接してください。詳しくは広報稲敷12月号、または市民協働課へお問い合わせください。

いなしき 稲敷 いなのすけ



◎姉妹都市交流事業（海外派遣・受入）の詳細は稲敷市ホームページ

<http://www.city.inashiki.lg.jp/index.html>（目的別→市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業）

◎稲敷市姉妹都市交流委員会 会員募集！ お問い合わせは市民協働課内事務局へ：029-892-2000（代）

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●



海外でのキャンプ体験

姉妹都市交流委員会 副会長
団長 清水 美香

初めて現地のスケジュールを見た時「キャンパー!？」と驚きを隠せませんでした。海外でのBQは何度か経験ありましたが、キャンプの経験は皆無でした。しかし、終わってみると私も含めて多くの団員の一番の思い出は「キャンプ」でした。カナダのキャンプは私たちが日本国内で経験しているものとは全然違いました。中でも一番驚いたのは、キャンプ場全体に外灯類が全くないため、トイレ内でさえもライトを持参しないと用が足せなかったことです。カナダの人たちは不便さも全て受け入れ、むしろそれを楽しんでさえいました。無ければ無いなりに過ごす。今の日本ではこのような経験をするのはそう多くないので、「便利すぎる生活」について一度立ち止まって考える良い機会だったのではないかと思います。海外旅行で、あえてキャンプに行く人はごく僅かだと思います。サーモンアーム市の方々の何ヶ月も前からの準備のおかげで、このような貴重な経験ができました。サーモンアーム市の方々に感謝し、次は私達が日本らしさを感じてもらえるよう、心を込めておもてなししたいと思います。

ずっとつながっていこう

—第10回稲敷市親善大使海外派遣事業に参加して—

派遣期間：平成29年8月16日(水)～8月26日(土)

第10回派遣団名簿

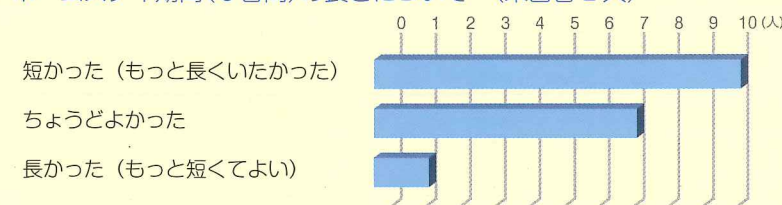
団長	清水 美香(稲敷市姉妹都市交流委員会 副会長)
指導員長	黒田 正紀(稲敷市立あすま東小学校 校長)
指導員	吉田 正人(稲敷市立新利根小学校 教諭)
	小貫 直美(稲敷市立沼里小学校 教諭)
団員	佐藤 李香(高2) 神保 碧美(高2) 高木 洸太郎(高1)
	幸田 拓(高1) 諏訪 七海(中3) モバティ花奈(中3)
	佐藤 日向(中2) 岡戸 星流(中2) 池田 莉理(中2)
	高須 久遠(中2) 根本 真紀(中3) 内田 朱音(中2)
	永長 夢叶(中2) 坂本 芽依(中2) 根本 菜央(中1)
	姥貝 望結(中1) 清水 日和(中1) 岡沢俊之介(中1)
	中川 公将(中1) 松本慎之介(中1)

派遣期間中の 主なスケジュール

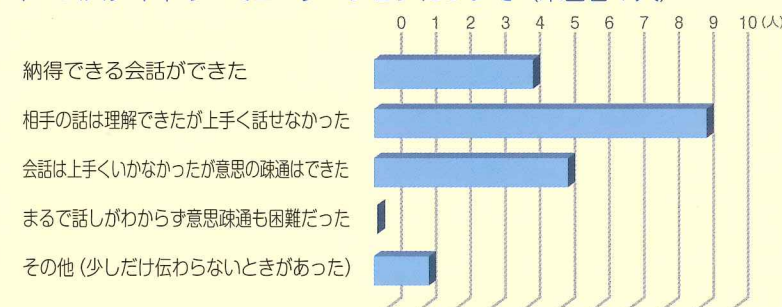
- ・対面式
- ・「友情の門」見学
- ・市庁舎訪問、中学校でのアクティビティ
- ・ホストファミリーとの交流
- ・ファーム見学
- ・キャンプ、ラフティング
- ・さよならパーティー
- ・レイクルイーズ観光

派遣団員のアンケート結果(抜粋)

Q. ホームステイ期間(9日間)の長さについて (未回答2人)



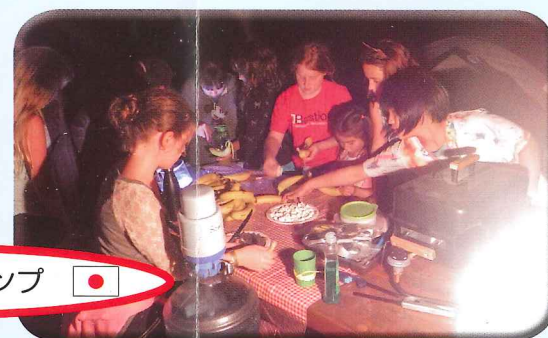
Q. ホームステイ中のコミュニケーションについて (未回答1人)



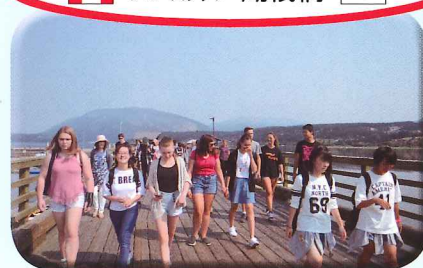
友情の門にて



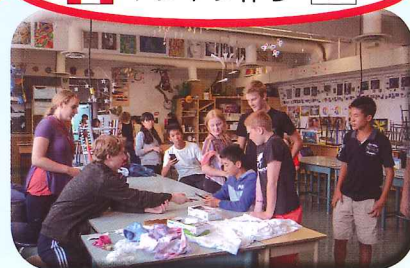
大自然でキャンプ



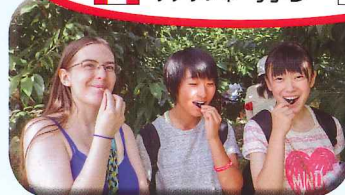
シュスワップ 湖棧橋



Tシャツ作り



サクラホク 釣り



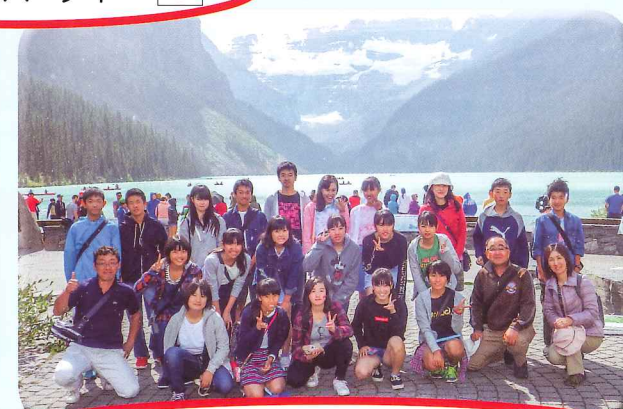
ラフティング!



さよならパーティー



バンフ・レイクルイーズにて



竹園高等学校2年 佐藤李香

サーモンアームの人々の優しさ、美しい自然。カナダで過ごした11日間は、これらに触れることのできた、一生忘れられない時間です。

異文化理解とは、その土地で発展した文化を知り、それを受け入れることだと思います。文化の違いを認めるということは決して簡単ではありません。でも、たとえその文化が自分にとってわからないものでも、それを受容することが大切なのだとわかりました。グローバル化にともない多文化社会になった今、私たちに必要な姿勢とは何なのか、この研修は教えてくれた気がします。

江戸崎中学校1年 中川公将

僕は現在、英会話を習っています。その中で外国人と触れ合うということは何度か経験していましたが、今回は触れ合うだけでなく同じ家で生活を共にするので少し緊張していました。だから、最初のころはあまり上手く話せませんでした。しかし「これではいけない」と思い、何とか知っている単語を口に出し自分の言いたいことを一生懸命伝えました。その結果、少しずつ会話が成り立ってきました。この結果から、「自分が一生懸命になれば相手も理解しようとしてくれるのだなあ」ということを知りました。

この11日間で、たくさんの友達ができました。「自分から話しかければ相手も答えてくれる」ということを信じて、これからの学校生活に生かしていきたいです。

東中学校1年 根本菜央

私の母はカナダにホームステイをしていた経験があり、国際交流や英語が好きです。そのような事もあり、兄は姉妹都市交流の受け入れを2回しました。その頃は、自分がカナダに行くことを考えなかったけれど、兄が『もう少し英語を勉強しておけば良かった』と言っていたのを覚えています。それが、私が派遣事業に申し込むきっかけだったような気がします。今回の姉妹都市交流に参加して、カナダの人達と生活を共にして、貴重な経験をたくさんさせてもらいました。ホストファミリーをはじめ、サーモンアームの皆さんには本当にお世話になりました。これからも国際交流を深め、この交流をきっかけに出来た友達やサーモンアームの友達とも交流を続け、これからの人生にこの経験を役立てたいです。

第8回姉妹都市交流委員会懇談会

10月7日、平成29年度稲敷市親善大使海外派遣団報告会及び解団式が行われ、その終了後、交流委員会主催による派遣団員と交流委員会会員による懇談会を開催しました。



派遣団員からは、「旅行とは違うホームステイという貴重な体験ができてよかった。」「今回の経験を将来に生かしていきたい。」などといった感想が聞かれました。

海外への高い興味関心と学習意欲を

稲敷市姉妹都市交流委員会

会長 石井 道朗

本年度の事業は、本市からの派遣とサーモンアーム市からの受け入れのサポートです。



今回の派遣では、親善大使 20 名の募集のところ 28 名の応募者がありました。市当局と本委員会の役員会との話し合いで「抽選」による選考となりました。惜しくも選にもれた応募者の方には大変申し訳なく思っております。是非、今後も海外への高い興味関心と学習意欲を持ち続け、自己目標実現の為にさらに研鑽して下さい。また、平成 31 年度には、派遣と受け入れ事業を予定しています。再度応募されることを期待しています。

さて、今回の派遣に伴う本委員会の取り組みの一つは、英語事前研修テキストの改編でした。副会長清水美香さんの豊富な英語体験をもとに、より実践的な場面を想定したテキスト作りをしました。

次に、この研修の講師の充実も図りました。従来市の A L T の先生と本委員会の委員 4 人にもお願いしました。

さらに、この中のある委員のご厚意による中学 1 年生対象の特別英会話研修を開催することができました。

これらの活動は、今後も継続し、姉妹都市交流の充実と親善大使の英語力アップを図っていきたいと考えております。

姉妹都市交流委員会の活動

姉妹都市交流委員会は、市が実施する姉妹都市交流事業を支援する組織として活動している団体です。

今回の派遣事業では、派遣団員の英会話研修を新たに企画し、交流委員会会員が講師となり研修会を実施しました。

今後とも、市と協力しながら、両市の友好親善の仲介役としての役割を果たせるよう、努めてまいります。



英会話研修の様子

Facebook ページを新設しました

稲敷市姉妹都市交流委員会ではこのたび Facebook ページを新設しました。

Facebook ページでは、委員会活動・姉妹都市交流について情報発信を行っていきます。

スマートフォンやパソコンから閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

©稲敷市姉妹都市交流委員会フェイスブックアカウント

<https://www.facebook.com/Inashiki.sistercity/>



QR コード

INFORMATION

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

親善大使海外派遣事業、親善訪問団受入事業など稲敷市の実施する姉妹都市（サーモンアーム市）との幅広い活動

に協力し、交流活動を展開しています。

問い合わせ・申込みは
市民協働課内事務局：
029-892-2000 まで

○姉妹都市交流事業の詳細は
稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市 姉妹都市交流

検索



親善大使海外派遣事業及び親善訪問団受入の日程について

派遣

受入

29 年度	H29.8 派遣実施済	H30.3 受入予定
30 年度	なし	なし
31 年度	H31.8 派遣予定	H32.3 受入予定
32 年度	なし	なし

※派遣事業における個人負担について

親善大使海外派遣事業の派遣費用は、概ね 30 万円です。派遣費用の半分（上限額 15 万円）を稲敷市より補助しますので、実質約 15 万円程度の個人負担となります。

編集後記

やはり、派遣前とそのあとでは、こどもたちの表情が違いますね。大事な何かを得てきているんですね。このことが、未来に向かって新たな可能性となると信じています。今号では、そのリアルな表情の変化をお伝えできているのでしょうか。この広報を読んでもいただいたことをきっかけに、新たな興味や交流が、そして絆が生まれることを願っています。

編集：稲敷市姉妹都市交流委員会広報委員・稲敷市役所市民協働課

交流委員会広報委員

山本 彰治（委員長）、塚本 みち子（委員）、倉田 九豪（委員）